

要領様式第2号

出張報告届

令和元年 8月 9日

吹田市議会議長様

会派名 自由民主党紳の会

出張者氏名 白石 透



(印)

(印)

(印)

(印)

(印)

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	TKP ガーデンシティ熊本		
期 間	令和元年 8月 7日から 8月 8日まで 2日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備 考	2日間でわかる！自治体財政集中講座 in 熊本 8/7(木)「あなたの街の自治体財政「見える化」研修 1」 「あなたの街の自治体財政「見える化」研修 2」 8/8(金)「議員の基本「財政比較分析の仕方」1」 「議員の基本「財政比較分析の仕方」2」	認印	会派代表者



地方議員研究会 報告書

自治体財政集中講座 IN 熊本

日程：令和元年 8月 7日（水）～8日（木）

場所：TKPガーデンシティ熊本

講師：川本 達志 元・廿日市市副市長

まず、冒頭から、夕張市の財政破綻の経緯の話があった。

石炭の露頭の発見により、1890年から炭鉱開発が進み、1960年には人口11万7千人となっていたが、その後、1981年の北炭夕張炭鉱ガス突出事故や、1985年の三菱南大夕張炭鉱ガス爆発事故などがあり、世の中の流れが石炭から石油へと変化していく、石炭自体の価値が縮小されていく中、何とか人口維持、夕張のにぎわいを維持していくと1979年以降、中田市長が以降6期務める間、ホテルオープンや、ロボット大科学館、歴史館、松下興産のスキー場進出、後に買収など夕張再生を試みたが、結果、財政破綻してしまうことになった。

6期も務めた市長であるが故、いろいろと、意見も出てきて当たり前ではあるが、「この予算を通してきた議会の責任はとても重たい」と講師は考えられていたのが印象的であった。

勿論、夕張市の財政破綻は人口減少により、税収が激減していったことは誰も否定しない。

夕張市の財政破綻の反省点として、執行部内で事業選択が及ぼす財政への影響について議論がされてない、財政状況について正確な情報が公表されていない、議会が市長まかせにして、必要な資料を要求していない、人口減少に対して、規模に見合った組織やサービスの見直しをしなかった。などがあげられる。

今回のセミナーでは決算カードなどを使ってセミナー参加の各自治体の個別の状況について解説などを交え、セミナーが進んだ。

吹田市においては、参加自治体の中では、豊田市などと共に財政内容は現時点では、安定しているように、思ったが、仮に、トヨタ自動車が、豊田から離れたら・・・、吹田市の人囗が大きく減少するうことになったら・・と、想定しておくことは当たり前であると、思うが、一方では誰もが享受できる、納得いくサービスも提供しなければならない。市民の税金を最大限、有効に活用することが、責任であると思う。目先では100歳の親を80歳の子がみなくてはならない。

その80歳の子をだれが見るのか？ 行政しかない。と、考えた時、決して財政に余裕があるとは思えない。

さて、当市の場合、まず、財政力指数については、0.99 となっており、まずまずだと思うが、平成 28 年度より人口増等での市税収入の増加などで 0.01 ポイント改善された。この値は 1 未満であれば需要額に収入額が足らないので普通交付税が交付され、1 以上であれば収入超過であるから不交付となる。不交付団体は富裕団体とも呼ばれるが、財政力指数はあくまで基準財政需要額と基準財政収入額をもとに算定された結果であって、実際の財源不足・富裕を表すものではないが、他市から見ればいい数字だと思える。が、いつまでも税収が増加するはずもなく、効率的な税金活用をすべきである。

また経常収支比率は 0.6 ポイント改善しているものの、類似団体内平均値を上回る状況であり、経常経費の削減に努めるべきである。

このうち、人件費については 3 年間停止していた新規採用の再開からある程度の増加は理解できるものの、定員管理の状況では、他市比較で平均値であるのに対し、人件費が多いのは、見直しを実施する必要があると思う。

また物件費において、0.6 ポイントの減少となっているが、多くの公共施設があることから、今後、施設保守や、設備点検に係る費用が膨らむのは明白であり、規模の縮小、効率化などで経費削減の必要性

を感じる。

まとめとして、吹田市において、類似団体との比較において、財政力はあるが、人件費、物件費、扶助費は平均値よりとても多い。  
見方を変えれば、税収増にごまかされて、人件費・物件費・扶助費が見えにくくなっている。  
今後、しっかりチェックしていく必要がある。